

## 1. はじめに

平成 21 年度より新しい保育指針に基づき、保育保健の質の向上を目指し、「感染症対策ガイドライン」「アレルギー対応ガイドライン」、さらに「食育に関するガイドライン」が次々に出されました。

しかし、子どもの成長発達や健康を把握する為に重要であるはずの、健康診断に関するガイドラインはいまだに出されていません。特に定期健康診断は、保育保健においては重要な役割を担います。

そこで、一般社団法人日本保育保健協議会では、平成 25、26 年度、健康診断のあり方を検討する委員会で協議を重ね、保育現場で実施できる健康診断のモデルを作成しました。この手引書は健康診断を適切に実施するための準備や対応に至るまで、具体的な方法や手順をイラスト入りでわかりやすく解説してあります。

この手引きに記載されている眼科・耳鼻咽喉科は必ずしも行われていません。その場合でも内科健診において、嘱託医に問診票の回答や園の生活の中で気になる点を相談することで、疾患の早期発見・治療に結びつけることができます。健康診断の機会を有意義に利用するために、この手引書を活用し、健康診断を名実ともに重要と位置づけ、さらなる保育保健の質の向上を目指していきましょう。

## 目 次

1. はじめに	3
2. 身体計測	4
3. 新入児健康診断	7
4. 在園児健康診断	9
1) 内科健康診断	9
コラム「健康診断の回数」	12
2) 歯科健康診断	16
コラム「大切な6歳臼歯」	17
3) 眼科健康診断	18
保育園で行う視力測定	18
コラム「弱視の治療に立ちはだかる6歳の壁」	20
4) 耳鼻咽喉科健康診断	21
5. 各種参考書式	22
1) 身体成長曲線	23
2) 各種記録用紙	31
別項4	
資料1 健康記録票	31
資料2 健康の記録	33
資料3 新入児健康記録票	34
資料4 各月齢・年齢の発達チェックポイント	35
資料5-1 全年齢対象問診票	36
資料5-2 年齢別問診票(0~5歳児)	37
資料6 歯科健康診断記録票	41
資料7 歯科健康診断結果通知	42
資料8 視力測定と問診票	43
資料9 視力測定結果と受診報告書	44
資料10 耳鼻咽喉科健康診断結果通知例	45